

【るもい農業情報広場】

令和2年 7月 1日 R2-7月号

今月の技術対策 (畜産編)

留萌農業改良普及センター

TEL : 0164-62-1779 FAX : 0164-62-2474

E-mail: rumoi.nakanoukai1@pref.hokkaido.lg.jp

夏期は、暑熱ストレスにより乳量や受胎率の著しい低下や乳房炎が多発するため、早めに以下の対策を講じましょう。

1 暑熱対策

- (1) 暑熱ストレスを軽減するため、換気や送風、遮光などによる牛舎内の温度や湿度対策を徹底しましょう。換気扇がない場合は牛舎の窓を取り外し、畜舎内の換気量を増加させましょう。
- (2) 給水施設の吐水量確認、清掃をこまめに行い、いつでも新鮮な水が十分飲めるように管理を行いましょよう。
- (3) 嗜好性、消化性の高い良質粗飼料を給与するとともに、塩分やミネラルの給与に留意しましょう。

2 サイレージやTMRの二次発酵対策

- (1) サイレージの取り出し作業は丁寧に行い、取り出し面をなめらかに保ちましょう。
- (2) 発熱が確認された場合は給餌回数を増やしたり、プロピオン酸やギ酸アンモニウム等の二次発酵抑制剤の使用を検討しましょう。

3 衛生的乳質対策

- (1) 気温と湿度が上昇し、畜舎内は細菌が増殖しやすい状態にあるので、牛床に十分な敷料を入れるなど管理を徹底し、乳房を清潔に保ちましょう。
- (2) 生乳中の細菌数が増加しやすい時期となっているため、搾乳機器の洗浄及び殺菌は、洗剤・殺菌剤の用法用量にしたがって行いましょう。

4 繁殖管理

- (1) 発情予定牛のリストアップと観察強化で、発情の見逃しを防ぎましょう。

5 農場の衛生管理

- (1) 疾病予防のため、農場内外の衛生対策を徹底しましょう。
- (2) ハトやカラス、キツネなど野生鳥獣の牛舎内への侵入を防ぐため、ネットを設置しましょう。